ロードピア配合設計システム

操作マニュアル

大陸建設株式会社

索引

第1章	お使いになる前	に 1
第1	節 必要な動作環境	1
第2章	初期データの登録	k 2
第 1	節 初期設定画面	2
	初期設定	2
第2	節 環境設定	3
	環境設定	3
第3	節 規格の登録	6
	粒度規格の登録	7
	混合物の規格の登録	8
第4	節 材料の登録	9
	アスファルトの登録	9
	石紛の登録	11
	再生用添加剤の登録	12
	骨材の登録	13
	新骨材の登録	13
	細骨材の登録	13
	粗骨材の登録	16
	補足(骨材の追加と削除)	20
	再生骨材の登録	21
第3章	配合設計	24
第1節	配合設計作業の開始	24
第2節	室内配合設計	25
E	目標粒度の設定	25
肻	骨材配合率の設定	25
比	重補正	26
再	生添加剤の計算	26
ア	スファルト量の設定	27
試	験に用いる材料の比重	27
理	論最大密度の計算	28
マ	ーシャル安定度試験	28
マ	ーシャル試験結果図表	30

設定アス量における	
マーシャル試験	33
第3節 プラント配合設計	34
ホットビンの性状と合成粒度	34
現場配合表	34
抽出骨材の性状と	
回収アスファルトの針入度	35
試験練り混合物のマーシャル試験	35
最終確認	37
第4章 配合設計書の印刷	38
第1節 印刷の開始	38
印刷フォームの表示	38
第2節 印刷の諸設定	39
オフセット	39
プリンタの設定	39
第3節 印刷	40
プレビューフォーム	40
第5章 合材ファイルの管理	41
第1節 合材ファイルを開く	41
作成した合材ファイルを開く	41
他所で作成された	
合材ファイルを開く	41
第2節 合材ファイルを保存する	42
合材ファイルを保存する	42
名前を変えて保存する	42
第3節 合材ファイルを削除する	43
合材削除	43

第1章 お使いになる前に

第1節 必要な動作環境

配合設計プログラムをご利用いただくために、 以下の環境が必要です。

- ・ Windows2000 / XP が動作する環境。
- ハードディスク最低 10MB 使用(50MB 以上)
- ディスプレイ 1024 * 768 / 256 色以上。
- ・ メモリー128MB以上(推奨256MB以上)

インストールの注意

 インストールを始める前に、あらかじめ他の Windows アプリケーションをすべて終了さ せてください。

第2章 初期データの登録

第1節 初期設定画面

第1項 初期設定

「ロードピア配合設計システム」を 新規に起動させると最初に下の画面が出ます ので「OK」を押してください。

Roadpia 配合	設計プログラム	×
まず最初にプ	ラントの登録を行	ういます。
[OK 1	
L		

「登録」ボタンを押して、無事登録されると以下 のフォームが出ますので「OK」を押してくだ さい。

データの作成	×
次にアスファルト等.使用 メニューの「データ→材料	する材料を登録してください。 わから登録することができます。
	<u>OK</u>

その後、プラント情報を登録するウィン ドウ(以下フォーム)が出ますので、登録 してください。

iriku–1000 🛛 🗸 🗸	計量順	ビン名	粒度範囲
┏ 標準のブラントにする	1	1 BIN	37.5_13.2
	2	2BIN	13.2_4.75
ッチの計量値	3	3BIN	4.75_2.36
IUU Ke	4	4BIN	2.36_0
計の係数	5		
)	6	- 23	

尚、「プラント名」、「バッチの計量値」、 「力計の係数」、「ビン名」の入力は必須 です(使用しないビン名は空白にします)。 「OK」を押すと次にメインフォームが表示されます。次回から起動時にはメインフォームが表示されます。

估责:14# #12*1000:000		- 0
ルロ テーカロ オフションロ バーラシンロ		
16	· 3524 Ter#u-1000	2 @ com 😡 gaa
8	检察機相 [10]使早	* Auto Man S-b1th
8	算合物の構築 [10]律事	· ·
RTWET (URININAZ BZ:cbBat		
41 g.m.	納入者	207
封入度 数比点 伸度 探討社 清末化 清末	大 可溶分 引火点 密度 農粘	度 線粘度 切ネス サナッティ 設計入
atta		
		1
해 <u>207</u>	再生用活加剤 クリア	
虚地 纳入者		在地 I的入板
国際9 粘度 2月レ2 pH 補田9 密度	包成 約私家	制火点 潮東化 開始社
	規检信	
	TEONE	
		□ 備考察師に記入する
		-
		-1
	インフォメーション	「インフォメーション根設オフ

次に環境設定をします。

第2節 環境設定

第1項 環境設定

各種の環境設定をします。また、会社名の登録 もここで行います。

ファイル(Y) データ(ℤ) オプション(型) バージョン(型)
混合物名	
印刷名	
作成日	

メインフォーム上部のメニューにある「オプシ ョン(Y)」 「環境設定(O)」を押すことで、環境 設定フォームが表示されます。

各種設定		
	登録	 閉じる
存場所│会社情報│計算 印刷 その他		
C [s3a0986d004]		
MaigoData		
C:¥PROGRA~1¥tairiku¥HaigoData	-	
品質管理データの保存先		
C:¥Program Files¥tairiku¥HinkanData¥	変更	
オーブニング画面		
	参照	
合材ファイルの関連付け		
関連付ける 解除		

保存場所

[データパス]

配合設計のデータをどこに格納するかという 設定です。変更先にプラントのデータが無い場合 は、次回起動時に初期設定画面がでますので、プ ラントデータを再登録してください。

存場所	会社情報 計算 印刷 その他	
データの)保存先	
	[s3a0986d004]	
	¥	82
C → F	ROGRA"1	
	tairiku	
	HaigoData	

[関連づけ]

配合設計ファイル(データ名.gozのファイル) から Roadpia を起動できるよう、ファイルの関連 づけを行います

[解除]

関連づけを解除する場合は隣の解除ボタンを押 してください。

・会社情報

[ライセンス情報]

会社名、住所、電話番号等を入力します。この データは鑑の印刷の際に使用されます。<u>新規に入</u> 力した場合や、住所変更等でデータの変更をした 際は「更新」ボタンを押して現在開いてる配合設 計書に反映してください。 会社情報



・計算

計算

 存場所 会社情報 計算 印刷 その他	登録	閉じる
存場所 会社情報 計算 印刷 その他		
始度组织		
和以受力見行行		
▼ 粒度規格の無効なフルイ目(-)を有効にする		
合成粒度の計算		
合成粒度の計算は小数点第 2 🕂 位迄使用		
改質剤使用時		
▼ 改質とアスの配合率を小数第三位まで計算する		
理論最大密度の計算		
▼ 新材の配合率を小数点第1位まで計算する		
マーシャル試験グラフ		
▼ マーシャルグラフを二次曲線で描画する		
□ マーンャルクラフを三次囲線で抽画する ▼ 共通範囲の小数第2位は5刻みで表示する。		
□ 共通範囲の端部が条件を満たす場合限界値を明記	とない	
計算数値の丸め方		
□ 数値が偶数倍になるように丸める規則に従う(例:1	2.25→12.2、	12.35→12.4)

[粒度規格]

粒度規格の登録の際に「-」(ハイフン)を有効 にするかどうかのチャックです。粒度規格の無い 合材を作成する場合に使用します。 [合成粒度の計算]

合成粒度の計算時に小数点第何位まで計算す るかの設定です。通常1~2です。

[改質剤使用時]

改質剤とアスファルトのアス量設定時に使用 される配合率の有効少数桁を第3位迄にします。

[理論最大密度の計算]

新材の配合率の有効少数桁数を第1位までにし ます。ただし、[改質剤使用時]のチェックがつい ている場合はそちらが優先されます。

[マーシャル試験グラフ]

マーシャル試験グラフを前バージョンの二次 曲線方式に切り替えます。

[計算数値の丸め方]

数値を丸める際、遇数値になるようにします。

印刷



[グラフの色]

グラフの色を設定します。

[印字設定]

「作成日を表示しない」にチェックされると、 印刷の際に作成年のみ出力されます。

「バージョンナンバーを印字する」にチェック されると印刷の際に現在のバージョンナンバー が出力されます。 ボタン

「登録」ボタン 現在の設定を保存します。

「閉じる」ボタン

設定を保存せずに終了します。

次に合材の規格を登録します。

・ その他



「起動時に骨材のフォームを表示させる」にチ ェックされると起動時に骨材の選択フォーム が表示されます。前バージョンからの移行を スムーズにする目的です。

「品管データの目標粒度はホットビン配合の目 標粒度とする」とチェックされると品管管理の合 材データにおける目標粒度はホットビン配合時 の目標粒度となります。

規格の登録 第3節

メインフォーム画面 総括表: tairiku-1000:Goz _ 🗆 X ファイル(Y) データ(Z) オブション(Q) バージョン(V) 混合物名再生粗粒度アスコン01 プラント tairiku-1000 --**自印刷** □ 保存 印刷名再生粗粒度アスコン 粒度規格 [0]標準 -骨材の選択 データ入力 混合物の規格 [0]標準 作成日 -使用材料1 | 使用材料2 | 配合設計 | 瀝青材 產地「 納入者 クリア 可溶分 引火点 密度 針入度 軟化点 伸度 蒸針比 薄変化 薄針入 混粘度 締粘度 タフネス テナシティ 設針入 規格値 新A性状 混合後性状 • 改質剤 再生用添加剤 クリア クリア 産地 納入者 産地 納入者 凝固分 密度 固形分 粘度 スチレン pH 動粘度 引火点 薄変化 薄粘比 密度 規格値 規格値 性状値 性状值 □ 備考を鑑に記入する 備考 --□ インフォメーション機能オフ インフォメーション

次に合材の規格の登録を行います。 登録する規格には「粒度規格」と「混合物の規 格」の2つがあります。

以降は例として、再生粗粒度アスコン(20%)の 配合設計書を作成する目的で規格を登録する事 にします。

そのまえに・・・

・メインフォームの「混合物名」の横にあるテキ ストボックス(白い四角)に「再生粗粒度アスコン 01」と入力してください。

・メインフォームの「印刷名」の横にあるテキス トボックスに「再生粗粒度アスコン」と入力して ください。

第1項 粒度規格の登録

最初に、粒度規格を登録することにします。



メインフォームの「粒度規格」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」 「粒度規格(R)」を押すことで、粒度規格の入力 フォームが表示されます。

尚、標準的な規格は予め登録してありますが、 新しい規格等が必要な時は、追加して登録ができ ます。今回は操作の説明のため、新規に入力する ことにします。

フォームが表示されましたら、粒度規格の規格 名と規格値を入力します。 粒度規格のフォーム



データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力し ます。

100%のように、上限値と下限値が同じ場合は、ひとつだけデータを入力してください。

サンプルデータ					
粒度	粒度規格名「[RG]再生粗粒度アスコン」				
	フルイ目	規格値			
	26.5	100			
	19.0	95_100			
	13.2	70_90			
	4.75	35_{55}			
	2.36	$20_{-}35$			
	0.600	11_23			
	0.300	5_16			
	0.150	4_12			
	0.075	2_7			
規格値は必ず半角で入力してください					

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。

第2項 混合物の規格の登録

次に、混合物の規格を登録します。



	24 枪枯衣:	tairiku-100	J.Goz	
	771N(Y)	データ(乙)	オプション(0)	バージョンヘ
メニューから	混合物名 再 印刷名 再	粒度規模 混合物の プラント性	格(R) D規格(K) 春報(P)	
	作成日		•	,

メインフォームの「混合物の規格」ボタンを押 すか、フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」

「混合物の規格(K)」を押すことで、粒度規格の入力フォームが表示されます。

尚、標準的な規格は予め登録してありますが、 新しい規格等が必要な時は、追加して登録ができ ます。今回は操作の説明のため、新規に入力する ことにします。

フォームが表示されましたら、混合物の規格名と規格値を入力します。

混合物の規格フォーム

財の規格			マーシャル話	職の規格
	細骨材	粗骨材		規格値
見掛密度	÷	-	実際密度	
表乾密度	2.5_	2.5_	空隙率	3_7
かさ密度	-	-	飽和度	65_85
吸水率	22	_3.0	安定度	4.90_
安定性損失	_12	_12	フロー値	20_40
ロス減量	2	_30	S/F	2
細長扁平石	-	-	新生めの空空度	_

データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力 します。

尚、「_2.5」の場合は「2.5以下」を表し、「2.5_」 の場合は「2.5以上」であることを表します。

サンプルデータ								
規格名「[RG]	再生粗粒度	アスコン」						
	細骨材	粗骨材						
見掛比重	-	-						
表乾比重	2.5_{-}	2.5_{-}						
かさ比重	-	-						
吸水率	-	_3.0						
安定性	_12	_12						
ロス減量	-	_30						

	規格値	
実際密度	-	
空隙率	3_7	
飽和度	65_{85}	
安定度	4.9_	
フロー値	20_40	
S/F	-	
残留安定度	-	

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。

第4節 材料の登録

次に、使用する材料の登録を行います。

以降は例として、再生粗粒度アスコン(20%)の 配合設計書を作成する目的で材料を登録する事 にします。

尚、今回の合材は以下の材料を使うことにしま す。

材料名	登録先
ストアス 80-100	アスファルト
再生添加剤	再生用添加剤
石灰石粉	石粉
R13-0	再生骨材
砂	
砕石 5-2.5	新骨材
砕石 13-5	
碎石 20-13	

まず最初にアスファルトを登録することにし ます。 第1項 アスファルトの登録

最初に、アスファルトの性状を登録します。



	⑦総括表:1	airiku-100	0:Goz	
	ファイル(1)	データ(乙)	オプション(Q)	バージョン(⊻)
メニューから	混合物名再 印刷名 再	粒度規 混合物 プラント ¹	格(E) の規格(K) 春報(P)	
	作成日	- 材料(Z)	• •	アスファルト(<u>A</u>)
	使用材料1	使用材料	42 配合設	改質材(近) 再生用添加剤(T)
	瀝青材			石粉(Q) 顏料(G)

メインフォームの「瀝青材」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」「材 料(Z)」 「アスファルト(A)」を押すことで、ア スファルトの入力フォームが表示されます。

フォームが表示されましたら、材料名、品質、 規格値を入力します。

-			
材料名 ストアス80-100-0	1		-
印刷名 ストアス80-100			
産地 釧路市産			
納入者 大陸石油(株)			
		-70	
試験日 2000/11/08	기	〈曜日	
		V	
	新アス	混合後	規格値
針入度[25℃](1/10mm)	92	89	80_100
軟化点(°C)	46	45	42_50
伸度[15℃](cm)	100(+)	100(+)	100_
		1007	110
蒸発後の針入度比(%)	98	102.7	110
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%)	98 0.06	0.04	_0.6
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%)	98 0.06 65.6	0.04	_0.6
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%)	98 0.06 65.6 99.3	0.04 71.9 99.8	_0.6 50_ 99_
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C)	98 0.06 65.6 99.3 35.4	0.04 71.9 99.8 354	_0.6 50_ 99_ 260_
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C) 密度[15°C](g/cm3)	98 0.06 65.6 99.3 35.4 1.016	102.7 0.04 71.9 99.8 354 1.025	_0.6 50_ 99_ 260_ 1.0000_
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C) 密度[15°C](g/cm3) 粘度(SFS) 混合温度(°C)	98 0.06 65.6 99.3 35.4 1.016 -	102.7 0.04 71.9 99.8 354 1.025 160	_110 _0.6 50_ 99_ 260_ 1.0000_ -
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C) 密度[15°C](g/cm3) 粘度(SFS) 混合温度(°C) 粘度(SFS) 綿固温度(°C)	98 0.06 65.6 99.3 35.4 1.016 - -	102.7 0.04 71.9 99.8 354 1.025 160 145	_0.6 50_ 99_ 260_ 1.0000_ - -
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C) 密度[15℃](g/cm3) 粘度(SFS) 混合温度(°C) 粘度(SFS) 綿固温度(°C) タフネス (N·m)	98 0.06 65.6 99.3 35.4 1.016 - - -	102.7 0.04 71.9 99.8 354 1.025 160 145 -	_0.6 50_ 99_ 260_ 1.0000_ - - -
蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C) 密度[15℃](g/cm3) 粘度(SFS) 混合温度(°C) 粘度(SFS) 綿固温度(°C) タフネス (N・m) テナシティ(N・m)	98 0.06 65.6 99.3 35.4 1.016 - - - -	102.7 0.04 71.9 99.8 354 1.025 160 145 - -	_110 _0.6 50_ 99_ 260_ 1.0000_ - - - - - -
 蒸発後の針入度比(%) 薄膜加熱 変化率(%) 薄膜加熱 針入(%) 可溶分(%) 引火点(°C) 密度[15°C](g/cm3) 粘度(SFS) 混合温度(°C) 粘度(SFS) 締固温度(°C) タフネス (N·m) テナシティ(N·m) 設計針入度 	98 0.06 65.6 99.3 35.4 1.016 - - - - - -	102.7 0.04 71.9 99.8 354 1.025 160 145 - - 90	_110 _0.6 50_ 99_ 260_ 1.0000_ - - - - - - - - - - -

アスファルトの登録フォーム

データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力し ます。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]であることを表しています。

サンプルデータ 材料名「ストアス 80-100-01」 印刷名「ストアス 80-100」 産地 「釧路市産」 納入者「大陸石油(株)」 試験日「2001/11/08」

	新アス	再アス	規格値
針入度	92	89	80_100
軟化点	46	45	42_50
伸度	100+	100+	100_
蒸発後の針入度比	98	102.7	_110
薄膜 加熱減量	0.06	0.04	_0.6
薄膜 加熱針入	65.6	71.9	50_
可溶分	99.3	99.8	99_
引火点	354	354	260_{-}
密度	1.016	1.025	1.000_
粘度 混合温度	-	160	-
粘度 締固温度	-	145	-
タフネス	-	-	-
テナンシティ	-	-	-
設計針入度	-	90	-
回収アス針入度	-	-	-

新アス・再アス・規格値は必ず半角で入力して ください。尚、密度は必須で入力してください。 また、再生添加剤を使用する場合は設計針入度も 必須です。

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。

第2項 石粉の登録

次に石粉の性状を登録します。





メインフォームの「石粉」ボタンを押すか、フ ォーム上部のメニューにある「データ(Z)」 「材 料(Z)」 「石粉(I)」を押すことで、石粉の入力フ ォームが表示されます。

フォームが表示されましたら、材料名、品質、 規格値を入力します。

データは、右上の例のように下限値と上限値を アンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力 します。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]であることを表しています。 ⑦石粉の登録 ファイル(Z) 材料名 石灰石粉01 -印刷名石粉 產 地 釧路産 納入者 大陸石灰(株) 試験日 2000/11/08 ▼ 水曜日 規格値 性状值 フルイ目600μm 100 100 300 µ m 100 100 11 96.5 95_100 11 150 µ m 11 75µm 83.0 80_90 密度 2.749 2.6 0.17 水分(%) 1.0 PI 加熱変質 フロー値(%) 吸水膨張(%) 剥離試験(合·否) 🔚 保存(S) 保存して閉じる(C)

	ţ	ナンプルデー	-タ					
材料	名「石」							
印刷	名「石	粉」						
納入者 「大陸石灰(株)」								
試験日 「2000/11/8」								
性状値 規格値								
	0.6mm	100	100					
	0.3mm	100	00 100					
1	0.15mm	96.5	95_{100}					
	0.074mm	83.0	80_90					
	比重 2.749 2.6_							
	水分 0.17 _1.0							
」性	状值、規格	値は必ず半	<u>角</u> で入力し	てくだ				

; さい。尚、比重、水分は必須です。

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。

石粉の登録フォーム

第3項 再生用添加剤の登録



メインフォームの「再生用添加剤」ボタンを押 すか、フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」

「材料(Z)」 「再生用添加剤(T)」を押すこ とで、再生用添加剤の入力フォームが表示されま す。

フォームが表示されましたら、材料名、品質、 規格値を入力します。 再生用添加剤の登録フォーム

<u> 一 再生添加剤の登録</u> ファイル (Z)		
材料名 再生用添加剤01		_
印刷名 再生用添加剤		
產 地 🗌		
納入者 大陸科学(株)		
試験日 2000/11/8	▼ 水曜	Э
11日	性状值	損格値
密度	1.014	-
動粘度[60°C]	195	80_1000
引火点	260	230_
薄膜加熱 変化率	-0.24	-3.0_3.0
薄膜加熱 粘性比	-1.4	_2.0
	保存⑤	保存して閉じる(<u>C</u>)

データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力し ます。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]であることを表しています。

	サンプルデータ							
材料名	「再	生用添加剤	U1 J					
印刷名	「再	生用添加剤	L					
納入者	「大」	陸化学(株)」						
試験日	г ₂₀	ر 00/11/8						
性状值 規格值								
密度	-							
動粘度	受	195	80_1000					
引火,	반	260	230_					
薄膜変化	七率	-0.24	-3.0_3.0					
薄膜粘性	生比	1.4	_2.0					
<u>性状値、規格値は必ず半角</u> で入力して								
ください。	尚、	密度は必須	です。					

データの入力が終わりましたら「登録」ボタンを 押してください。 第4項 骨材の登録

次に骨材を登録します。骨材には新骨材と再生 骨材があります。

印刷名 再	生粗粒度アスコン	
作成日		
使用材料1	使用材料2、配合設計)	
	<u> </u>	
避音材		產地

骨材を登録するにはまず、「使用材料2」の文字 を押してページをかえます。

CALLER Ded BOX	thirdur	1000 Gez	(a) (0)	(-0a'.0	0												- 0
123 物名	再生和粒	277.3L	401	1 2420	K:		-	ゴラント	tair	àu-100	0.			•	43.0	n Eri	0 (82
EDERS	再工程的	ま7スエレ	,			_		轮滚横椅	102	[0)(##			C37 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2				
frist E			-				17	日合物の規	AS ITON	1.0	_	_	_	-	景移の	潮訳	データ入
使用和	11 使用	100216	2:039391-1											-			
ansext)	017	1															
机料名	度地	的入者	見密度	表密度	吸水車	安定性	07.9	530	37.5 31	5 26.5	19.0	132	4.75	2.36	600 4 300	1415	04754
規格領		-	*	-	-	1	-			-						+	
		-			-	-										+	
税价(1	207	1															
材料名	度地	纳入者	見密度	表密度	吸水率	安定性	1223	\$ 53.0	37.5 31	5 265	19.0	132	4.75	2.36	600 A 300), 15	0 A 76 A
規括信息	-			-	-	-	-									T	
																	-
两生骨科	1 303	2				-											
材料名	盘地	的入者	旧A含有	(IEAB)	宝鹿	洗损失		53.0	37.5 31	5 265	19.0	132	4.75	2.36	600 4300	1415	1477 H
	-	1	-		-	1	1	1					-	-		1	
石粉	1 200	21						1 1993	507	i.							
材料名	度地	机入着	住度	木分	600,0	300 JA	1 1	四名 虚	地	加入者	A	tir	かさ	12	H	粒子	Ĩ.
規指任		-			-			10010									
								11									1
1							*										

すると上の図面に切り替わります。以降この画 面で動作作業を行います。 1.新骨材の登録

次に新骨材を登録する事にします。新骨材には 細骨材と粗骨材があります。まずは細骨材から登 録をする事にしましょう。

細骨材の登録



ボタンから



メインフォームの「細骨材」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」 「材料(Z)」 「細骨材(S)」を押すことで、細骨 材の入力フォームが表示されます。 細骨材の入力フォーム

材料名					
印刷名					
 曲 ₩ [
納入者					
試験日			-		
, 使相构之 [[们遭准				
	Lar a 192+	Linite / t	1 1		
項目	性状他	規格他		区分	
275				○ 粗骨槽	才 🖲 細骨材
31.5		-		2	
265					144-4-27 2
19		2		月出家庄	11至4人1世
13.2	1	-		<u>兄田</u> 五度 主約密度	
4.75		-		加大変度	
2.36		-		吸水量	
600 µ		-		安定性損	H I
300 µ		-		ロス減量	
150 µ		-		細長扁平	2
75 µ.		-			
			_8	ED刷	
			_		

まず、最初に、粒度規格の登録をします。

の新骨材の	登録
ファイル(1)	規格(Z)
材料名	粒度規格登録(乙)
印刷名	5
産 地	

フォーム上部のメニューにある「規格(Z)」「粒 度規格登録(Z)」を押すことで、粒度規格の入力フ ォームが表示されます。 粒度規格の登録フォーム



データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力 します。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]であることを表しています。

サンプルデータ					
	粒度規構	格名「[SA]砂 01」			
	規格値				
	2.36	100			
	0.600	70_90			
	0.300	20_{50}			
	0.150	0_10			
	0.075	0_{5}			
<u>規格値は必ず半角</u> で入力してくださ					
ل <i>۱</i> 。					

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。 粒度が登録されると、必要なフルイ目だけが表 示されるようになり、すっきりしました。

ट म्	99月日 			<u> </u>
粒度規 	格名 🛙	5A]砂01		•
J		性状値	規格値	
	2.36		100	
	600μ		70_90	
	300μ		20_50	
	150μ		0_10	
	75 µ		0_5	

次に、以下のデータを入力してみましょう。

サンプルデータ				
材料名「砂 01」				
印刷名「砂」				
産地 「庶路海岸」				
納入者「大陸砂利(株)」				
試験日「2000/11/8」				
区分细骨材」				
フルイ目 規格値				
2.36 100				
0.600 84				
0.300 38.4				
0.150 2.7				
0.075 0.7				
項目 性状値				
見掛け比重 2.711				
表乾比重 2.673				
かさ比重 -				
吸水量 0.84				
安全性損失 5.59				
ロス減量 -				
<u>規格値、性状値は必ず半角</u> で入力して				
ください。尚、見かけ、表乾比重、吸水				
ください。尚、見かけ、表乾比重、吸水				

細骨材の登録フォーム

か 新 骨 材 の 登 録 と					
ファイルひ	規格(乙)				
材料名	砂01				•
印刷名	砂				
産 地	庶路海岸				
納入者	大陸砂利(株)			
試験日	2000/11/0	18	- 7	大曜日	
粒度規格名	[SA]砂01		-		
項目 2.36 600 300 150 75,	性状値 100 μ 84 μ 38.4 μ 2.7 μ 0.7	規格値 100 70,90 20,50 0,10 0,5		区分 で 粗骨和 項目 見掛密密度 かさ水量 安定性損量 細長扁平	村 ● 細骨材 2.711 2.673 - 0.84 5.59 - 含
				\$ 印刷	保存して閉じる
					11.

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。「登録」ボタンを押すとメイ ンフォームに骨材が追加されます。



<u>カーソル位置(上図色付きの所)の行にデータが</u> 登録されます。データを追加する場合にはカーソ ル位置をマウス等で下に移動させてから登録し ます。

粗骨材の登録



	1- · · T	
	ファイル(ソ)データ(2) オプション(2)	バージョン🕑
	混合物名 粒度規格(E) 混合物の規格(K)	
	印刷名 ブラント情報(P)	
フォームから	作成日 []	アスファルト(<u>A</u>)
	使用材料1 使用材料2 配合設計	再生用添加剤①
		石粉Φ
	材料名 產地 納入者 見密	顏料(<u>G</u>)
	規格値 -	細骨材(S)
	砂01 庶路海岸 大陸砂利 2.71*	粗骨材(L)
		再生骨材(乙)

● \$221千末・+

メインフォームの「粗骨材」ボタンを押すか、 フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」「材 料(Z)」 「粗骨材(L)」を押すことで、粗骨材の 入力フォームが表示されます。 の新骨材の登録 × ファイル(Y) 規格(Z) 材料名 -印刷名 產地 納入者 試験日 -粒度規格名 [0]標準 • 項目 性状値 規格値 区分-53 ● 粗骨材 ● 細骨材 37.5 -31.5 26.5 -項目 見掛密度 性状値 19 -13.2 _ 表範密度 4.75 -かさ密度 2.36 吸水量 安定性損失 600 u -300 µ ロス減量 150 µ -細長扁平含 75 JL 🖨 印刷 保存して閉じる 🗌 保存

最初に粒度規格の登録をします。

の新骨材の)登録
ファイルの	規格(Z)
材料名	粒度規格登録(乙)
印刷名	3
產 地	

フォーム上部のメニューにある「規格(Z)」 「粒度規格登録(Z)」を押すことで、粒度規格の入 力フォームが表示されます。

粗骨材の登録フォーム



データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力 します。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100_」 の場合は[100以上]

であることを表しています。

サンプルデータ 粒度規格名「[SO] 枠石 5-2.5-01」				
		規格値		
	13.2	100		
	4.75	70_100		
	2.36	5_{25}		
	0.6000	0_10		
<u>規格値は必ず半角</u> で入力してくだ				
さい。				

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。

粒度が登録されると、必要なフルイ目だけが表示

されるようになり、すっきりしました。

規格名 🛽	60]枠石5-	-25-01	-
項目	性状値	規格値	1
53		-	
37.5		-	
31.5		-	
26.5		-	
19		-	
13.2		100	
4.75		70_100	
2.36		5_25	
600 µ		0_10	
-300μ		-	
-150μ		-	
- 75 μ		-	

次に、以下のデータを入力しましょう。

サンプルデータ
材料名「砕石 5-2.5-01」
印刷名「砕石 5-2.5」
産地 「釧路市」
納入者「大陸砕石(株)」
試験日「2000/11/8」
区分 「粗骨材」

フルイ目	規格値
13.2	100
4.75	95.2
2.36	14.9
0.600	2.7

項目	性状値
見かけ比重	2.737
表乾比重	2.648
かさ比重	-
吸水量	1.98
安定性損失	2.86
ロス減量	-

規格値、性状値は必ず半角で入力してくだ さい。尚、見かけ、表乾比重、吸水量は必須 です。 粗骨材の登録フォーム

材料名	碎石5-25-	01			-
印刷名	碎石5-25				
産 地 🛙	训路産				
納入者	大陸砕石(株)	_		
≣≭⊯⊜□	2000/11/0	18			
	[00]#%77E	05.01		4EC	
』度規恰名	130144400	-20-01			
項目	性状值	規格値	F	区分—	
53	8	-		● 粗骨棒	材で細骨材
37.5		123			
31.0					Lucinity 1
10		120		阻日	
132	132	100		<u>見掛密度</u> ま乾密度	2.737
4.75	95.2	70 100	ł	衣記温度	2.048
2.36	14.9	5.25		仍水县	1 98
600 µ	2.7	0 10		安定性指	失286
300 µ		12		コス減量	-
150 µ		-		細長扁平	쥥-
75 µ.	1	-			
				印刷	

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。「登録」ボタンを押すとメイ ンフォームに骨材が追加されます。

(粗質が)	クリア		
材料名	産地	納入者	見密度
規格値			-
砕石5-25	釧路産	大陸砕石	2.737

<u>カーソル位置(上図色付きの所)の行にデータが</u> 登録されます。データを追加する場合にはカーソ ル位置をマウス等で下に移動させてから登録し ます。(P18・補足参照) 同様に以下のデータも登録します。

サンプルデータ 粒度規格名「[SO]砕石13-5-01」 規格値 19100 $70_{-}100$ 13.24.75 $5 \ 25$ 2.36 $0 \ 10$ 規格値は必ず半角で入力してください。 サンプルデータ 材料名「砕石 13-5-01」 印刷名「砕石 13-5」 産地 「釧路市」 納入者「大陸砕石(株)」

×:	分「粗骨材」	
	フルイ目	規格値
	19	100
	13.2	98.3
	4.75	13.3

試験日「2000/11/8」

2.36

項目	性状値
見かけ比重	2.736
表乾比重	2.652
かさ比重	-
吸水量	1.85
安定性損失	4.02
ロス減量	-

2.5

<u>規格値、性状値は必ず半角</u>で入力してくだ さい。尚、見かけ、表乾比重、吸水量は必須 です。



項目	性状値
見かけ比重	2.738
表乾比重	2.659
かさ比重	-
吸水量	1.73
安定性損失	2.70
ロス減量	-

<u>規格値、性状値は必ず半角</u>で入力してくだ さい。尚、見かけ、表乾比重、吸水量は必須 です。

	TTT10 F				
材料名	44-13-5-	-01			
印刷名	砕石13-5				
產 地	釧路市		_		
納入者	大陸砕石	(株)			
試験日	2000/11/	08	-	水曜日	
市田校夕	[SO]][李王·	13-5-01		//-œU	
11夏79月18-6	10010+10	10-0-01			
項目	性状值	規格値		区分	
53		-		新聞 新聞 新聞 林園 村田 「 新聞 「 新聞 おおいる およいる およいる およいる おおいる およいる 	1 C 細骨材
37.5		170			
31.5		-		-	
26.5	100	-		項目	性状値
19	100	100		見掛密度	2.736
13.2	98.3	70_100		表乾密度	2.652
4.75	13.3	5_25		かさ密度	-
2.36	2.5	0_10		吸水量	1.85
600	μ			安定性損失	4.02
300	μ	-		ロス減量	-
150	μ	-		細長扁平含	ŝ
and the second se	LL I	-			



補足 骨材を追加する場合

新たに追加した直後の状態

粗骨材	クリア			
材料名	産地	納入者	見密度	表密度
規格値	1		-	-
砕石5-25	(おなーキー	大陸砕石	2.737	2.648

マウス等でカーソルを下へ移動させる。

粗骨材	クリア			
材料名	産地	納入者	見密度	表密度
規格値			-	-
砕石5-25	釧路産	大陸砕石	2.737	2.648

骨材を削除する場合

削除したい骨材にカーソルを合わせる。

粗骨材	クリア			
材料名	産地	納入者	見密度	表密度
規格値	-		-	-
砕石5-25	余 <mark>》。② 左</mark>	大陸辞石	2.737	2.648

「クリア」ボタンを押す。

粗骨材	クリア					
材料名	産地	納入者	見密度	表密度		
規格値			-	-		
砕石5-25	釧路産	大陸砕石	2.737	2.648		

粗骨材登録画面へ。

粗骨材				
材料名	産地	納入者	見密度	表密度
規格値			-	-
砕石5-25	釧路産	大陸砕石	2.737	2.648

骨材が削除されます。

粗骨材	(22077.)			
材料名	産地	納入者	見密度	表密度
規格値			-	-

その後骨材登録を完了すると、骨材が追加され 骨材の呼び出しは何度でも可能です。

ます。

和性が	クリア			
材料名	産地	納入者	見密度	表密度
規格値			-	-
砕石5-25	釧路産	大陸砕石	2.737	2.648
砕石13-5	釧路市	大陸砕石	2.736	2.652

2.再生骨材の登録

再生骨材	しつい	<i>r</i>		
材料名	<u>《</u> 地	納入者	旧A含有	
規格但				ボタンから

	ファイル(グ) データ(2) オ	ブション(0) バージョ	vw
フォームから	混合物名 粒度規格(混合物の規 印刷名 ブラント情報	R) 格(近) (P)	
	作成日 材料(2) 使用材料1 使用材料2	アスファル 改 て 改 て 材 す 和 上 一	ルト(<u>A</u>) (K) 添加剤(T)
	細骨材 クリア 材料名 産地 納入	· 石粉型 者 見密 蘭料G	i)
	規格值	細骨材 相骨材 再生骨	(S) (① (村(Z)

再生骨材の登録フォーム

****	規1合(型)			
1714-4-45				
印刷名				
产 地	<u> </u>			
7± -C	<u></u>			
納人者	I			
試験日			-	
渡規格名	[0]標準			
項日	品質	規格値		
53		-		L++ ~ %m.G.++
37.5		-	(● 不且"言	F14 U #019144
31.5		-		
26.5		-	項目 品質	規格値
19		-	旧アス含有	3.8_
13.2		-	旧アス針入	20.0_
4.75		-	密度	
2.36		-2	洗い損失量	5.0
600 µ		-	,	-
300 µ		-1		
150 //		-		
100 00	1	-		

メインフォームの「再生骨材」ボタンを押すか、 最初に、粒度規格の登録をします。 フォーム上部のメニューにある「データ(Z)」「材 料(Z)」 「再生骨材(Z)」を押すことで、再生骨 材の入力フォームが表示されます。

① 再生骨材	の登録		
ファイル(1)	規格(Z)		
材料名	粒度規	.格登録(Z)	
印刷名			

フォーム上部のメニューにある「規格(Z)」「粒 度規格登録(Z)」を押すことで、粒度規格の入力フ ォームが表示されます。



データは、上の例のように下限値と上限値をア ンダースコア「__」(シフト+ろ)で結んで入力 します。

尚、「_100」の場合は「100以下」を表し、「100」」 の場合は[100以上]

であることを表しています。

サンプルデータ							
	粒度規格名「[R] R 13-0-01」						
規格値							
	13.2	100					
	4.75	65_{85}					
	2.36	50_70					
	0.600	40_60					
	0.300	30_50					
	0.150	10_30					
	0.075	5_{15}					
規格	各値は必ず半	≜角で入力してください。					

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。 粒度が登録されると、登録フォームには必要な フルイ目だけが表示されるようになり、すっきり します。

次に、以下のデータを入力してみましょう。

	サンプルデータ
材料名	^r R13-0-01 J
印刷名	^r R13-0 J
産地	「釧路市」
納入者	「大陸舗道(株)」
試験日	^r 2000/11/8 J
区分	「粗骨材」

フルイ目	規格値
13.2	100
4.75	75.6
2.36	62.9
0.600	48.1
0.300	39.0
0.150	15.6
0.075	10.6

項目	性状値
旧アス含有率	6.49
旧アス針入率	40
最大比重	2.453
洗い損失量	1.12

<u>規格値、性状値は必ず半角</u>で入力してく ださい。尚、旧アス含有率、比重は必須で す。

22

	R13-0-	01			-	
印刷名	R13-0					
æ th	創設市					
/£ /6		政治省中				
納入者	大陸論	直(株)				
試験日	2000/11	1/08	• 7	ト曜日		
度規格名	[R]R13-	-0-01				
項目	, 品質	規格値	1	反八		
53		-		の範疇また。	~ ≪m.⊡.++	
37.5		-		(• 租宜州)(前前41	
31.5		-	6			
26.5			項目	品質	規格値	
19		-	18722	有 6.49	3.8	
13.2	100	100	旧アス金	+入40	20.0	
4.75	75.6	65_85	密度	2.453	-	
2.36	62.9	50_70	洗い損失	き量 1.12	5.0	
	48.1	40_60				
600 µ	a substantia da fan de sete a seconda de s	00 50				
600 μ 300 μ	39.0	30_00				
600 μ 300 μ 150 μ	39.0 15.6	10_30				

再生骨材の登録フォーム

以上で骨材の登録は完了です。次からは、実際 に材料を組み付ける作業に入ります。

その前に、メインメニューの「保存」を押して 一旦データを保存しましょう。

最終確認として、材料のデータがきちんと半角 で入力されているかどうか確認してください。全 角の数値では正常な組付けが出来なくなること があります。

データの入力が終わりましたら「登録」ボタン を押してください。「登録」ボタンを押すとメン フォームに骨材が追加されます。

<u>第注</u> 貸材)	クリア		
材料名	産地	納入者	旧A含有
規格値			3.8_
R13-0-01	釧路市	大陸舗道	6.49

<u>カーソル位置(上図色付きの所)の行にデータが</u> 登録されます。づづいてデータを登録する場合に はカーソル位置をマウス等で下に移動させてか ら登録します。(P18・補足参照)

第3章 配合設計

第1節 配合設計作業の開始

第1項 配合設計への移行

次は登録された材料を使って、配合設計を行い ます。



「データ入力」ボタンを押すことで、配合設 計作業に移行することができます。

第2節 室内配合設計

第1項 目標粒度の設定

最初に目標粒度の設定をします。



粒度規格の中央値が初期値として既に入力されています。必要に応じて目標粒度を変更してください。変更する箇所にカーソルを合わせてEN



入力が終了したら「次へ」ボタンを押します。

自動計算 <u>石粉量</u> <前へ 次へ> 閉じる 骨材名 石灰石 砂01 砕石5 砕石13 砕石20 R13-0 配合率 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 . 53.0 37.5 31.5 26.5 100 19.0 13.2 10.1 100 4.75 14.9 100 2.36 62.9 48.1 39.0 15.6 10.6 600 µ 100 84 38.4 27 300 µ 100 150 µ 96.5 2. 83.0 合成粒 目標粒 ▲ 100 53.0 90 37.5 80 31.5 70 100.0 26.5 97.5 60 19.0 80.0 50 4.75 45.0 0.0 4 27.5 17.0 10.5 2.36 30 600 µ 20 300 µ 10 150 µ 0.0 8.0 4.5 0.0 150 μ 300 μ 75 µ. 600 M 19.0 31.5 53.0 13.2 26.5 7.5 . 75 µ 2.36 合成粒度の計算は小数点第 1 🚽 位迄使用

骨材配合率を設定します。以下のように設定し てください。

・配合率

日	材名	石灰石	砂01	砕石5-	砕石13	砕石20	R13-0-
配	合率	3.0	9.0	14.0	33.0	21.0	20.0
• /]	∖数,	点表示		-	-	-	

合成粒度の計算は小数点第 1 📑 位迄使用

・並び替え

▼ 並べ替える(粗骨→細骨→再生→石粉の順)

「並び替える」にチェックすると骨材を粗骨材、 細骨材、再生骨材。石粉の順に並び替えることが できます。

入力が終わりましたら「次ぎへ」ボタンを押し てください。

第2項 骨材配合率の設定

第3項 密度補正

<u>VECTIC 14.0 33.0 21.0 9.0 20.0 3.0 100.0 -</u>
②密度 2.693 2.694 2.699 2.711 2.716 2.749
[①×②] 37.7 88.9 56.7 24.4 54.3 8.2 270.2
[(U×Q)] 37.7 88.9 56.7 24.4 54.3 8.2 270.2

密度補正をするかどうかの設定をします。

今回のデータでは密度補正は行いませんので、 「しない」に印をつけてください。

入力が終わりましたら「次へ」ボタンを押して ください。

第4項 再生添加量の計算



再生添加剤の添加量と針入度試験結果を入力 し、針入度検量を描きます。

以下のデータを入力して<u>ENTER</u>キーを押し てください。

サ	ン	プル	/デー	-タ

 $\frac{1}{2}$

3

添加量	針入度
0	40
5	63
10	98

ENTERキーが押されると、針入度検量線が描かれ、添加量が算出されます。



添加量は手入力で微調整可能です。

入力が終わりましたら「次へ」ボタンを押して ください。

第5項 アスファルト量の設定

政質剤混入率(固形分) 再生ア	ス量の	_	<前へ] %	次へ>	閉じる
マーシャル試験のため、数種の	アスファルト	量を設定し	at र त्रि	4	5
再生アスファルト量(内創)	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
再生アスファルト量(外割)	4.17	4.71	5.26	5.82	6.38
旧アスファルト量(外割)	000000		1.39		
再生添加剤(外割)			0.13		
新アスファルト量(外割)	2.65	3.19	3.74	4.30	4.86
改質剤量 (外割)		2			
改質剤量 (内割)					
<u> </u>					

全アスファルト量を入力して、新アスファルト の添加量を算出します。材料に改質剤が使用され ていれば、改質剤の添加量の決定もここで行いま 算出方法の設定をします。 す。

サンプルデータ

1	2	3	4	5
4.0	4.5	5.0	5.5	6.0

入力が終わりましたら「次へ」ボタンを押して 入力が終わりましたら「次へ」ボタンを押してく ください。

第6項 試験に用いる材料の密度

			<前へ	次へ>	閉じ
-吸水率が1.5 C細・粗骨材 ・粗骨材のみ C細・粗骨材のみ	%を越える の見掛けき の見掛け は、見掛け	場合の採用 3度と表乾空 密度と表乾 密度を使用	条件 渡の平均(密度の平均	直 7直	
材料名	密	度	吸水率	計算に用い	13
	見掛	表乾	(%)	密度	
ストアス80-100				1.016	
				1.014	
再生用添加劑				1.014	
再生用添加剤 石灰石粉01				2.749	-
再生用添加剤 石灰石粉01 砂01	2.711	2.673	0.84	2.749	
再生用添加剤(石灰石粉01 砂01 砕石5-2.5-01	2.711	2.673 2.648	0.84	2.749 2.711 2.693	
再生用添加前间 石灰石粉01 砂01 碎石5-2.5-01 碎石13-5-01	2.711 2.737 2.736	2.673 2.648 2.652	0.84 1.98 1.85	2.749 2.711 2.693 2.694	0
再生用添加劑(石灰石粉01 砂01 碎石5-25-01 碎石13-5-01 碎石20-13-01	2.711 2.737 2.736 2.738	2.673 2.648 2.652 2.659	0.84 1.98 1.85 1.73	1.014 2.749 2.711 2.693 2.694 2.699	0 0 0

吸水率が 1.5%をこえる材料においての密度の

今回は2番目の「粗骨材のみ見掛け密度と表乾 密度の平均値」に印を付けます。

ださい。

第7項 理論最大密度の計算

の計算表です。

顔料)。

					-			•	100 100					
F,	×Α	*F//	4を使用しない	1場合	ま入力し	ない								
_	1	骨材配合率	骨材配合率		1		2	1	3		4		5	Ť
	1	(石粉含む)	(石粉除()	(%)	(K)	(%)	(K)	(%)	(K)	(%)	(K)	(%)	(K)	(
	ストアス80-10	-	-	2.55	2.510	3.05	3.002	3.56	3.504	4.07	4.006	4.57	4.498	T
i.	石灰石粉01	3.00		2.88	1.048	2.87	1.044	2.85	1.037	2.84	1.033	2.82	1.026	
1	碎石5-2.5-01	14.00	18.18	13.44	4.991	13.37	4.965	13.30	4.939	13.23	4.913	13.16	4.887	
1	砕石13-5-01	33.00	42.86	31.68	11.759	31.50	11.693	31.35	11.637	31.17	11.570	31.02	11.514	
i	砕石20-13-01	21.00	27.27	20.16	7.469	20.06	7.432	19.95	7.392	19.85	7.355	19.74	7.314	
1	砂01	9.00	11.69	8.64	3.187	8.60	3.172	8.55	3.154	8.51	3.139	8.46	3.121	
	R13-0-01	21.39	-	20.53	8.369	20.43	8.329	20.32	8.284	20.21	8.239	20.11	8.198	
_	再生用添加剤		-	0.12	0.118	0.12	0.118	0.12	0.118	0.12	0.118	0.12	0.118	
_		_												
	ΣΚ				39.451		39.755		40.065		40.373		40.676	
	理論最大密度 (100/ΣK)			Ĵ	2.535		2.515		2.496		2.477		2.458	
6														

設定したアスファルト量における理論最大密度

左のチェックボックスに印を付けることで、骨 材を一定量に固定することが出来ます。(新骨材と

第8項 マーシャル安定度試験



マーシャル試験の結果を入力します。

サンプルデータ

	粘度	混合物温度	設定温度
混合時	85 ± 10	160	160
締固め時	135 ± 10	145	145

確認が終わりましたら「次へ」ボタンを押して ください。

アスファルトの比重	1.025
力計の係数	1
締固めの回数	両面各 50
試験温度	60 ± 1

試験番号1(アス量4.0%)

	平均厚	空中重量	水中重量
1	6.40	1215.1	701.7
2	6.36	1211.3	700.7
3	6.37	1212.7	701.1
	表乾重量	力計読み	フロー値
1	1220.5	7	19
2	1216.1	6	22
3	1217.8	7	20

(次のページへ)

	平均厚	空中重量	水中重量
1	6.34	1220.7	710.5
2	6.36	1223.2	700.7
3	6.36	1222.7	711.2
	表乾重量	力計読み	フロー値
1	1224.5	9	26
2	1227.5	8	22
3	1226.5	9	25

試験番号 2(アス量 4.5%)

試験番号 3(アス量 4.5%)

	平均厚	空中重量	水中重量
1	6.34	1221.1	710.3
2	6.36	1223.7	711.4
3	6.34	1223.4	712.3
	表乾重量	力計読み	フロー値
1	1224.4	9	30
2	1227.3	8	30
0			

試験番号 4(アス量 5.0%)

	平均厚	空中重量	水中重量
1	6.36	1222.8	708.5
2	6.37	1220.4	707.5
3	6.35	1221.5	708.7
	表乾重量	力計読み	フロー値
1	1225.3	6	37
2	1222.7	7	38
3	1223.7	7	39

試験番号 5(アス量 6.0%)

	平均厚	空中重量	水中重量
1	6.36	1217.2	702.3
2	6.37	1214.8	700.0
3	6.36	1215.0	700.8
	表乾重量	力計読み	フロー値
1	1218.3	5	46
2	1216.1	5	48
3	1216.3	5	46

入力後<u>ENTER</u>キーを押すと、実際密度等が算 出されます。

ノギス法で容積を求める場合はフォーム右上 の「容積の求め方」と書いてある所の「ノギス法 で求める」のところに印を付けてください。

容積の求め方 「ノギス法で求める

<u>尚、アス比重、力計の係数、各試験のデータは</u> <u>必ず半角で入力してください。正しい計算結果が</u> <u>得られないことがあります。</u>

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタ ンを押してください。

第9項 マーシャル試験結果図表

マーシャル試験の結果がグラフ表示されます。



グラフの形を整える。

現在のグラフの形は試験結果をそのまま繋い だグラフのため、形に少々違和感があります。よ り理想的な曲線に近づける作業をすることにし ましょう。 1.変化させたい曲線の赤い丸の上にマウスを移

動させます。

	実際密度(g/cm3)									
2.39										
2.38	Η									
2.37	\vdash	-/	<u> </u>	<u> </u>		-				
2.36		\vdash			$ \searrow $					
2.25		/				Ĺ				
2.00	1	ř –								
2.34										
2.33										
2.32	4.	0-4	5 5.	0 5.	5 <u>6</u> .	0-				

2.するとマウスカーソルが指のマークに変化す るので、そこでマウスの左ボタンを押します。





4.5 を若干上げた

飽和度

安定性

3.マウスのボタンを押したままマウスを動かす とグラフが変化しますので、理想的な形にしまし ょう。



他のグラフも同様に行います。













5.5~6.0を若干動かした

フロー値





S / F





5.5 を若干上げて 6.0 を下げた

グラフを動かすと連動して共通範囲も変化し 第10項 設定アス量における室内配合 ます。

共通範囲

アスファルト	密度 1.025		€/cm3
	下限値	上	限値
実際密度			
空隙率	4.15	6.00	
飽和度	4.45	6.00	
安定度	4.00	6.00	
フロー値	4.00	5.60	
S/F			
共通範囲	4.45	5.60	
	中央伯	直 5.0(5.)	3) %
実際密度			
空隙率			
飽和度			
安定度			
フロー値			
S∕F			
共通範囲			
4	.0 4.5 5	5.0 5.5	5 6.0

固定	材料\配合 石灰石粉01	外割(%)	含有アス量	内割(%)	含有アス量	(K) 1.037
-	12001	9.0		855	-	3154
-	碎石5-2.5-01	14.0	1	13.30	-	4.939
1	砕石13-5-01	33.0	1	31.35		11.637
11	砕石20-13-01	21.0		19.95		7.392
11						1
-			-		-	5
and:	R13-0-01	20.0	1.39	19.00	1.32	8.284
	ストアス80-100-		3.74		3.56	3.504
	再生用添加剤()		0.13	1	0.12	0.118
_		5.26		5.00	-	
	6	105.26	3	100.00		ΣK=40.06

決定された設計アスファルト量で、配合率と理 論最大密度を算出します。

グラフの形がある程度整いましたら、「次へ」 ボタンを押してください。

確認が済んだら「次へ」ボタンを押してくださ い。

第11項 設定アス量におけるマーシャル試験

混合及	乙科帝国は	も温度						1.0					3	2010.0	
		粘度	昆合物温	度設定	温度 7	マスファル	トの密度	A= 1.0	025	締固め回	該 両面	语50	回残	留安定度	
湯管管	1849 13	5±10 1	60	160	_	力計の	の係数	B= 1.0		試験温度	60 ±	1	°C		9%
称回	014 1	35 ± 10 1	45	145		容物	の求めた	ちゃやめろ	(30	0~40分水剂	Ð		-	残留安万	定度非表示
	D	0	(3)	10	6	6	0	63000	(9)	60	60	63	6	600	an I
試験	アスファ	供試体	空中	水中 管量	春暮	容積	実際	理論	77ス	空隙率	骨材開始率	鲍和度	力計の読み	安定度	フロー値
-	(%)	(cm)	(g)	(2)	(g)	(cn)	(g/cm3)	(g/cm3)	(%)	(%)	(%)	(%)		(kN)	(1/100cm)
						5-4	3/8			1-(@/®) ×100	3+0	(®)/⊕ ×100		Bש	
Charles Sales		6.34	1221.1	710.3	1224.4	514.1	2.375						9	9.00	30
標準		6.36	1223.7	711.6	1227.3	515.7	2.373						8	8.00	30
言式教史	5.0	6.34	1223.4	711.2	1226.3	515.1	2.375						9	9.00	31
平		均			-		2.374	2.496	11.6	4.9	16.5	70.3		8.67	30
		8 8			3		S			<u>0</u>			-) – j	
水浸					-	-									
言大服死	5.0										_				
平		均						2.496			_			-	
										S. 5.				-	
グラント	6.0			-			-							-	
イボンキー	6.0	8 9		-	2		2 3			2 9					
Directore .								1							
平		均						2.496							
157 Jb		-			-		-	-		-				-	
水浸	5.0			1			-			-					
試験		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			2		2			9				-	
		. · · ·			2		2			9 3			5	2	

サンプルデータ 標準試験

	ことを見て、「この」を見て、									
	平均厚	空中重量	水中重量							
1	6.34	1221.1	710.3							
2	6.36	1223.7	711.4							
3	6.34	1223.4	712.3							
	表乾重量	力計読み	フロー値							
1	1224.4	9	30							
2	1227.3	8	30							
3	1226.3	9	31							

設定アス量において行われたマーシャル試験 の結果を入力します。

設定アス量が試験済のアス量であった場合は、 標準試験の初期値としてすでに試験された結果 が入力されています。

今回の設定アス量の値は 5.0 は、既に試験され たアス量であったため、既に初期値が入力されて います。

	水浸試験								
	平均厚	空中重量	水中重量						
1	6.35	1201.1	702.1						
2	6.32	1218.0	710.8						
3	6.32	1211.4	700.1						
	表乾重量	力計読み	フロー値						
1	1202.8	9	31						
2	1221.1	8	32						
3	1215.5	9	31						

入力後ENTERキーを押すと、実際密度等が 算出されます。

<u>尚、アス比重、力計の係数、各試験データは必</u> <u>ず半角で入力してください。正しい計算結果が得</u> られない可能性があります。

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタ ンを押してください。

第3節 プラント配合設計



第1項 ホットビンの性状と合成粒度

各ホットビンの粒度と配合率を入力し、合成粒 度を算出します。

ビン名	1ビン	2 ビン	3ビン	4ビン
配合率	12.0	17.0	26.0	22.0
26.5				100
19.0			100	90.1
13.2		100	98.3	9.8
4.75	100	88.5	1.0	
2.36	98.9	1.0		
0.600	61.8			
0.300	34.6			
0.150	2.7			
0.075	1.0			

サンプルデータ

入力後、「再計算」ボタンを押すと、合成粒度 等が算出されます。

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタ ンを押してください。

第2項 現場配合表

		再計算	Ĩ< î	かく 次へ>	閉じる
現場配合表			再生のみで ・ Yes O	累積 No アフ	ζ+改質+添加 Yes Ο No
	0	0	3	@	S
材料乀項目	配合(A) (%)	配合(B) (%)	混合物配合 (%)	計量質量 (Kg)	記錄質量 (Kg)
	骨材	全配合 (外割)	@X100/@	③/100× バッチの計量値	記録紙 (累計値)
1 BIN	12.0	12.00	11.40	114.00	114.00
2BIN	17.0	17.00	16.15	161.50	275.50
3BIN	26.0	26.00	24.70	247.00	522.50
4BIN	22.0	22.00	20.90	209.00	731.50
			8 19		9 9
R13-0-01	20.0	21.39	20.32	203.20	203.20
石灰石粉01	3.0	3.00	2.85	28.50	28.50
ストアス80-100		3.74	3.56	35.60	35.60
)				
再生用添加剤		0.13	0.12	1.20	36.80
合計	100.0	© 105.26	100.00	1000.00	1000.00

計量順を設定して計算重量、記録重量を算出し ます。計算順は入力することが出来ます。設定ア ス量が変った場合は「再計算」ボタンを押して情 報を最新のものにしてください。

計算順等の各設定は次の通りです。



設定が済んだら「次へ」ボタンを押してください。

第3項 抽出骨材の粒度と回収アスファルトの 針入度



第4項 試験練り混合物のマーシャル試験



次に試験練り混合物のマーシャル試験の 結果を入力します。

サンプルデータ

1 ===		- P	
- T -	MH-	=-	· E 4 -
A==	-	= -1	Et alla
~_		- 11	
	_		111111

	平均厚	空中重量	水中重量
1	6.34	1224.6	713.4
2	6.34	1222.8	711.7
3	6.33	1221.9	711.7
	表乾重量	力計読み	フロー値
1	1227.5	9	31
2	1226.1	8	27
3	1225.1	9	30

	水浸試験					
	平均厚	空中重量	水中重量			
1	6.33	1222.3	711.3			
2	6.38	1219.3	714.3			
3	6.34	1224.1	711.0			
	表乾重量	力計読み	フロー値			
1	1225.1	8	31			
2	1223.3	9	29			
3	1227.3	9	31			

<u>尚、アス比重、力計の係数、各試験データは必</u> <u>ず半角で入力してください。正しい計算結果が得</u> られないことがあります。

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタン を押してください。

抽出骨材の粒度と回収アスファルトの針入度 を入力します。

	サンプ	ルデータ
抽出再生アス量	5.0	

26.5	100
19.0	98.0
13.2	81.1
4.75	44.4
2.36	26.9
0.600	20.3
0.300	15.1
0.150	6.6
0.075	4.8

回収ア	ス針入歴	夏 90
-----	------	--------

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタ ンを押してください。

第5項 最終現場配合表

		2刀)	明値 (<前	約~ 次~>	閉じる	
最終現場配(合表	E	ン有効小数桁] 「ビン有効小数	@ 2 ÷ 桁を全ての材料	© <mark>2 →</mark> に適用する	
	0	0	3	@	6 1	-
材料乀項目	配合(A) (%)	配合(B) (%)	混合物配合 (%)	計量重量 (Kg)	記錄重量 (Kg)	計量
	骨材	全配合 (外割)	@×100/©	③/100× バッチの計量値	記録紙 (累計値)	ル
1 BIN	12.0	12.00	11.40	114.00	114.00	1
2BIN	17.0	17.00	16.15	161.50	275.50	2
3BIN	26.0	26.00	24.70	247.00	522.50	3
4BIN	22.0	22.00	20.90	209.00	731.50	4
						5
						6
R13-0-01	20.0	21.39	20.32	203.20	934.70	7
						8
						3
石灰石粉01	3.0	3.00	2.85	28.50	28.50	1
						2
ストアス80-100		3.74	3.56	35.60	35.60	1
再生用添加剂		0.13	0.12	1.20	1.20	3
合計	100.0	© 105.26	100.00	1000.00	1000.00	

ここでは、最終現場配合表を作成する作業をします。各プラントの実態に沿った設定をしてください。このデータではビンの計量単位はkg単位とすることにします。

まず最初に、「初期値」ボタンを押して現場配 合表のデータを読み出します。

次にビンの計量重量の表示桁を変更します。今 回はビンの計量値をkg単位で計量することにし ます。

そのためにはフォーム上部にある有効桁欄を 0 に設定します。

「数桁	@ 2	÷	S 2	÷
でわって異せれ	行を全てて	つまオ実知	に適用す	3

マウスでテキストボックス(白い四角)横にある黒 い三角の下向きの部分()をクリックしてくださ い。すると、数字が変化しますので二つとも0に してください。 このようになります

त्रस्त	1 2010	<u> </u>	ഭവിവ	- L
eni		•		-
しまれま	6**	つまオ半3日	一適田オ	z

この有効桁の設定はホットビンの有効少数桁 の数です。その他の桁数を修正したい場合は、そ の箇所にカーソルを合わせて編集するか「ビン有 効少数桁を全ての材料に適用する」にチェックを 入れて下さい。

データの入力が終わりましたら、「次へ」ボタ ンを押してください。

第6項 最終確認

②総括表 ファイル	<mark>長:tairiku-1</mark> クーデータQ	000:.Goz <u>Z</u>) オプシ	зン(<u>0</u>) /	バージョン№)									
混合物名	再生粗粒	度アスコン	D1				.	プラント	tairiku-	000		•	🚑 印刷	🔚 保存
印刷名	再生粗粒质	度アスコン						旋規格	[RG]再约	主粗粒度ア	パコン	•		
作成日			_				混合	物の規格	 [[RG]再约	も粗粒度ア	パコン		骨材の選択	7-97/1
/######) 9∃ Ì/≢⊞±	Hallo 丙2												
1史用44和	가 [1史用4 	에져와온 비니									_			-
	再アス量	: <u>新アス量</u>	: 旧アス量	再生用汤	砂01	砕石5-2	5碎石13-	5碎石20-1	R13-0-0	11石灰石料	<u>9</u>			
<u>骨材</u>	-	-	-	-	9.0	14.0	33.0	21.0	20.0	3.0	_			
<u> </u>	5.U	3.55	1.32	0.12	8.55	13.30	31.35	19.95	19.00	2.85				
1 	日政社度	1075	lot r	loes	110.0	400	1175	10.00	leon	[000	1150 ···	175	_	
<u>川川日</u> 坦教値	53.0	37.5	31.5	100	05 100	13.2	4.75	20.35	11 23	<u>1300 /2</u> 5 16	<u>150 μ</u> 4 12	27	_	
家内	-	-	-	100.0	97.8	68.3	45.0	275	20.6	14.3	62	47		
<u>ディー</u> フラント	-	-	-	100.0	97.8	79.8	45.4	27.7	20.0	15.0	6.3	4.7	-	
マーシ	」 ャル試験性	t状値 👘												
	アス量	実密度	理密度	容積率	空隙率	間隙率	飽和度	安定度	70-値	S/F	残安定]		
規格値	-	-	-	-	3_7	-	65_85	4.9_	20_40	-	-			
<u>室内</u>	5.0	2.374	2.496	11.6	4.9	16.5	70.3	8.67	30	0.29				
<u>」プラント</u>	5.0		2.496											
	ットビン粒間	<u>t</u>					,							
2ル1目	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	600 µ	300 µ	150 µ	75 µ	_	
1BIN						100.0	100.0	98.9	61.8	34.6	2.7	1.0		
2BIN	-				100.0	100.0	88.5	1.0						
ABIN				100.0	00.1	98.3	1.0						-	
184882.4				100.0	50.1	0.0								
現物配合	家コー		di Diti	loop	lone	(ADR)		a 7-12-7-02	র					
	新アスプ	7 <u>冉王用</u> 涿	120	2BIN 170	26.0	4BIN 22.0	20.0	<u>11/11/21/11</u> 20	IJ					
日初日 日和日	3.74	013	12.0	17.0	26.00	22.0	20.0	3.00						
全配合	3.56	0.12	11.40	16.15	24.70	20.90	20.32	2.85						
計質量	35.60	1.20	114	162	247	209	203	28.50						
記質量	35.60	1.20	114	276	523	732	935	28.50						
抽出粒度														
	アス量(%)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	600 µ	300 µ	150 u		
抽出粒质	5.0				100	98.0	81.1	44.4	26.9	20.3	15.1	6.6	4.8	

サンプルデータを全て入力して、メインフォー これで全てのデータ入力は終了しました。確認 ムに戻った時、「配合設計」ページにきちんと数が終わったら、次は印刷処理を行います。 値が入っているかどうかを確認してください。

第4章 配合設計書の印刷

第1節 印刷の開始

第1項 印刷フォームの表示



20総括表:tairiku-1000:再生粗粒度	アスコン
ファイル(<u>Y)</u> データ(Z) オブション(Q) KH
¶ 新規作成(N)	
₩ 保存(S)	
↓ 名前を変えて保存(C)	 +
🔓 合材ファイルを開く(G)	
↓ 合材ファイルを保存(R)	人里 月 -
★ 合材削除(D)	0.1
를 印刷(P)	26
	10
17'771	110

メニューから

印刷設定フォーム

ブリンタの設定 ブリンタ設定		オフセット	プレビュー
プリンタ名 Canon LBP-830 LIPS	4 💌	右へ 20 ÷	mm ED扇J
フォント MS 明朝	-		PDF出力
印刷項目の選択			
▼ 鑑	1	マーシャル安定度	試験結果一覧表
☑ 総括表		マーシャル試験結	果(図表)
	<u>v</u>	設定アス量におけ	る室内配合
▼ 該計針入度への調整 □ 今代物度		設定アス重におけ	シイーンヤル1日1天1世 今日1956年
▶ 百风松度		ホットビンの注1人と 理想配合主	古为风和刘良
▶ 月1718日日 ▶ 新アフ最の計算	v ∎	試験補い見合物の	フーシャル性状値
	- -	抽出試驗	
▼ 理論最大密度の計算	5	最終現場配合表	
		全て選択	全て選択しない
		静宁(2)	ァー 問いる
		=52,4E1#1	+ IHUS

メインフォームの「印刷」ボタンを押すか、フ ォーム上部のメニューにある「ファイル(Y)」 「印刷(P)」を押すことで、印刷設定フォームが 表示されます。

第2節 印刷の諸設定

第1項 プリンタの設定

● 印刷設定フ:	ォーム	
「ブリンタの	設定	_
	プリンタ設定	
プリンタ名	Canon LBP-830 LIPS4	-
フォント	MS 明朝	-

印刷するプリンタを選択することが出来ます ので使用するプリンタとフォント名を選択して ください。

第2項 オフセット

オフセットとは、配合設計書の印刷位置がプリ ンタ機種によって、多少のズレが生じる事がある ため、印刷位置の微調整に使います。通常はどち らとも 20mm の設定です。

第3項 プリンタの設定

「プリンタの設定」で使用するプリンタ名とフ ォントを決定して下さい。 設定が済んだら「プレビュー」ボタンか「印刷」 ボタンを押します。

第4項 設定保存

オフセットや普段使うプリンタ名は「設定保 存」ボタンを押して保存してください。次回から は設定を変えることなく印刷ができます。

第5項 印刷項目の選択

印刷するページを選択することが出来ます。印 刷したいページにチェックを付けて選択してく ださい。

「プレビュー」ボタンを押すとプレビュー画面を 見ることが出来ます。

第3節 印刷

印刷のプレビューが表示されますので、実際に 紙に出力する前に確認する事が出来ます。また、 このフォームで各ページ毎の印刷も出来ます。





プレビューを終了し、印刷設 定フォームに戻ります。 第5章 合材ファイルの管理

第1節 合材ファイルを開く

第1項 作成した合材ファイルを開く

作成した配合設計データ(以下合材ファイル)を 呼び出すには

総括表:ta	iriku−1000: ≢	主粗粒度ア
ファイル(Y)	オプション(0)	バージョンの
▶ 新規作成	(N)	
送 開((0)		
∦ 保存(S)		
┃ 名前を変	えて保存(C)	H
😼 合材ファイ 🕌 合材ファイ	ルを開く(G) ルを保存(R)	

<mark>の総括表</mark> ファイル(Y)	オプション(型)	バージョンϢ	
混合物名	生粗粒度アス:	⊐)/01	×
作成日			

フォーム上部メニューにある「ファイル(Y)」 「開く(O)」を選択するか、「混合物名」の横に ある「」をクリックし合材名を選択して下さい。 第2項 他所で作成された合材ファイルを開く

他所で作成された拡張子が .GOZ の合材ファイ ルを開くには

💯 総括表			
ファイルM	オプション(0)	バージョ	עע
┣ 新規作	成(N)		<u> </u>
诸 開((0)			
틞 保存(S))		
▋ 名前を翻	変えて保存(C)		
🔗 合材ファ	イルを開く(G)		
▋ 合材ファ	·イルを保存(R)		産地
🗙 合材削	除(D)		

フォーム上部にある「ファイル(Y)」 「合材 ファイルを開く(G)」を選択して下さい。

*1 ルを開い			?
ファイルの場所①:	🔁 HaigoData	- + E	I 💣 🎫
再生粗粒度ア	スコン01.Goz		
ファイル名(<u>N</u>):	[關(@)

「ファイルを開く」ダイアログが表示されますの で開きたい合材ファイルを選択して下さい。 第2節 合材ファイルを保存する

第1項 合材ファイルを保存する

合材ファイルを保存するには「混合物名」欄に 名前が入力されている。

条件下において、フォーム右上の「保存」ボタ ン「データ入力」ボタンを押すか、フォーム上部 メニューにある「ファイル」 「保存」を選択し て下さい。

🖨 印刷	🔚 保存
骨材の選択	データ入力

20 総括表:tairiku-1000:再生粗粒度	ミアス
ファイル(ソ) データ(Z) オプション(0	9-7
↑ 新規作成(N)	\vdash
≧ 開((0)	F
<mark>Ⅲ</mark> 保存(S)	
│ 名前を変えて保存(C)	
🧀 合材ファイルを開く(G)	ΠI
₩ 合材ファイルを保存(R)	
	L_

第2項 合材ファイルをメディアに保存する

合材ファイルをMO等のメディアに保存する にはフォーム上部にある「ファイル(Y)」 「合 材ファイル保存(R)」を選択し「名前を付けて保 存」ダイアログが表示されたら、保存したいメデ ィアを選択したのち「保存」ボタンを押してくだ さい。



1.201.002	

第3項 名前を変えて保存

合材ファイルの名前を変えて保存するにはフ ォーム上部メニューにある「ファイル(Y)」「名 前を変えて保存(C)」を選択して下さい。

尚、ファイルを開いた後、混合物名を変更して 保存をした場合は、配合設計「データ入力」以降 のデータは保存されません。

2. 総括表: tairiku-1000:再生粗粒度アス:
ファイル(Y) データ(Z) オブション(Q) /
) 新規作成(N)
<mark>≽</mark> 闌((O)
☐ 保存(S)
Alife State Colored Lange Co
↓ 合材ファイルを保存(R)
名前を変えて保存
新しい名前

第3節 合材ファイルを削除する

第1項 合材ファイルの削除

合材ファイルを削除するには削除したい合材 ファイルを用いた後フォーム上部のメニューに ある「ファイル(Y)」 「合材削除(D)」を選択し て下さい。



よくある質問

<u>年度変りを期にデータをバックアップしたい。</u> 最初に「オプション(O)」 「環境設定(O)」を選び、 環境設定画面の「保存場所」を確認します。

存場所 会社情報 計算 日刷 -	その他	
データの保存先		
E c: [s3a0986d004]		
C:¥		
PROGRA"1		
AligoData		
C:¥PROGRA~1¥tairiku¥HaigoData		
品質管理データの保存先		
C:¥Program Files¥tairiku¥HinkanDat	a¥ 変更	
オーラニンク画面	4 117 1	
合材ファイルの関連付け		
関連付ける 解除		

初期設定では

配合設計 C:¥Program Files¥tairiku¥HigoData¥

品質管理 C:\Program Files\Tairiku\HinkanData\

となっております。

次にデスクトップの「マイコンピュータ」を開き、配合設計データの、 保存先フォルダの1つ上までフォルダを開きます。

初期設定では

C:¥Program Files¥tairiku¥ まで開きます。



フォルダを開いたらウィンドウ内の何もない部分で右クリックし、 「新規作成」 「フォルダ」を選択し、フォルダを新しく作り、 フォルダ名を西暦や元号など、年度がかわりやすい名前にしておきます。



最後に表示されている配合設計データフォルダを右クリックし、 「コピー」を選択し、その後、先ほど作成したフォルダを開き、 右クリックし「貼り付け」を選択します。品質管理データフォルダも 同様に行います。



右クリック「コピー」



貼り付け完了



右クリック「貼り付け」

🔄 H16		_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(1/2) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
〜戻る・⇒・ 🖬 🔇 🕅	嬬 13.7ォルダ 🧭 階階×の	
アドレス(D) 🗀 H16		▼ (278動)
	HairoData	
	HinkanData	
オブジェクトを選択すると、その記 示されます。	的形表	
関連項目: マイドキュメント		
<u>マイ ネットワーク</u> マイ コンピュータ		
	0.54	
21回のオノンエクト	UNAN LE	9 VI JUE1-9 //

品質管理データを 「コピー」「貼り付け」を行う

以上でデータのバックアップは完了です。 バックアップしたデータをロードピアで使用する場合は、 「オプション(O)」 「環境設定(O)」で環境設定画面を表示し データの保存先を変更してください。

場所 会社情報 計算 印刷 その他	登録	閉じる
3場所 会社情報 計算 印刷 その他		
with 1 WITH HIS BI T HIMMI CONR		
。 为水理专生		
- 30/1+1+7C		
C: [\$3409600004]		
C:¥		
Program Files		
👝 HaigoData		
C:¥Program Files¥tairiku¥H16¥HaigoData		
- 品質管理データの保存先		
C:¥Program Files¥tairiku¥H16¥HinkanData¥	変更	
ーーーー オーゴニング画面		
	a	
Contract and Contract		